

令和2年度10月（第7回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 令和2年10月28日（水）午後1時30分から午後2時40分
場 所 雲仙市千々石庁舎3階 大会議室
出席者 ・下田和章教育長 ・前田眞一教育長職務代理者
・中村妙子委員 ・森下祐樹委員 ・仁禮智加子委員
・事務局 （富永教育次長、小松参事監兼総務課長、草野学校教育課長
堀田生涯学習課長、加藤スポーツ振興課長
総務課森田参事補（書記））
欠席者 ・なし

会議日程

第1 前回会議録の件

第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取り組み状況及び計画
- (3) 各課からの報告

第3 付議事項

議案第17号 雲仙市芸術文化大会出場激励費交付基準の一部を改正する訓令について

第4 その他

雲仙市教育振興基本計画の主要施策について

次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が令和2年度10月（第7回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 前回会議録承認の件

「前回会議録承認の件」を議題とし、令和2年度第6回定例会会議録署名委員に森下委員及び仁禮委員を指名する。

事務局

- ・会議録を読み上げ提案する。

教育長

- ・意見、質問がないことから第6回定例会会議録の承認を宣言する。

日程第2 報告事項

（1）教育長報告

- ・教育長が資料により、月例報告について説明・報告する。

委員

- ・会計検査院の調査というのは、どのようなものか。

事務局

- ・10月12日から16日まで長崎県及び県内の各市町教育委員会を対象とする会計検査院の現地検査が行われ、雲仙市には15日木曜日に来られた。
会計検査院の調査は、事業が終了した国庫補助事業を対象に行われるものという認識だったが、今回は、現在進行中のGIGAスクール関係の内容を中心に聞き取りが行われた。
入札の方法やこれまで使っていたパソコンの取り扱いや過去のLAN配線工事の内容などについて尋ねられた。
生涯学習課の文化財の補助金も調査の対象であったが、4時間の検査の内、残り30分しかなく、概要と、補助率、中身だけ聞かれて終わった。

教育長

- ・昨年終了したエアコンについて調査が入るのかと思っていたが、現在進行中のGIGAスクール関係が中心だった。過去に補助金を使って整備したものが無駄にならないのかというところを見たかったんじゃないかなという感じがした。

教育長

- ・ほかに意見、質問がないことを確認する。

(2) 各課の事業等の取組状況及び計画

事務局

- ・資料により各課別に説明する。

委員

- ・愛野小の体育館のトイレの改修は、故障の修理に合わせて洋式化を行うのか。

事務局

- ・故障ではなく、洋式化を進める目的で行う工事である。

委員

- ・島原第二中のトイレを見る機会があったが、これまで古かった外のトイレが新しくなってウォシュレットが付いていた。誰でも入れる外のトイレがウォシュレットになっていたので、変わって来たなあと感じた。雲仙市の予定は。

事務局

- ・ウォシュレットの予定はないが、これまで故障したトイレの修理に合わせて洋式化を行っていたが、故障していないトイレについても少しずつ洋式化や改修を行っている。土黒小学校の屋外トイレなどは、洋式化と男女共同だったものを分ける工事の設計を行っていて、大塚小の体育館のトイレも同様に計画している。校舎でも男女のトイレの境の壁が上までなかったところに壁の設置を進めていて、子どもたちが快適に使用できるよう取り組んでいる。低学年が使うトイレを優先して洋式化を進めたいと考えている。

委員

- ・10月18日のレクリエーション&スポーツフェスタで150名の参加があつてよかったなど思ったが、屋内なので密集が気になった。参加人数は何名超えたら打ち切りとか考えていたのか。

事務局

- ・参加者が多かった場合は、密にならないよう卓球室で一部の競技を行う予定だったが、アリーナのみで開催できた。感染症対策として開催に際し、名簿の作成、消毒、そして参加賞にプラスチック製のマスクを配った。

教育長

- ・今欠員となっているALTの現在の状況について説明を。

事務局

- ・感染症の影響で新しいALTが来日できないままになっていたが、欠員となっている5名の内、3名については1月に来日できる予定である。英国人2名、アメリカ人が1名、すべて男性である。配属をどうするかはこれから検討したい。

教育長

- ・生涯学習課のテレビ放映について委員に説明を。

事務局

- ・小浜歴史資料館は、現在指定管理になっているが、資料館に湯太夫の本多さん所有の開かずの金庫が置いてあるのをスタッフがフェイスブックにアップしたところ、テレビ局から早速問い合わせがあり、タレントのロッチ中岡さんが撮影に来られた。結果的に金庫を開けることができたが、思ったより内容が良かったのか、11月4日に放送予定だったものが12月23日の特番の方に回ったようだ。詳しいことがわかればまた報告したい。

教育長

- ・ほかに意見、質問がないことを確認する。

(3) 各課からの報告

- 1、学校教育課より、学力調査の結果について説明する。

委員

- ・算数ですごくいい結果が出ている学校があつてすごいなと思ったが、ここだけか。

事務局

- ・県平均と比べてかなり高い点が出てる学校が他にもあるが、瞬間最大風速の場合もあるので何とも言えない。例えばこの学校については、昨年度も一定の結果を出していた。たまたま昨日、県の教育委員会義務教育課の参事等が学校訪問で来られたが、その秘訣はという話になった。指導主事の話では、まず学級が非常に落ちついている。子供たちが先生の問いかけにしっかり答えることができる。授業がきちんと成立してるところがずっと全学年続いているところからこの状況が生まれてるんじゃないかということだったと聞いている。

今日、校長面談で校長にも尋ねたが、子供たちの個人差が非常に少なく授業が進めやすい集団であるというのもあるようだ。理解度が、特段すぐれている子がいれば、それに合わせた授業をするし、その準備もある。進み方が遅い子供を考えれば、そこにまた合わせて、いろんな準備が必要になってくる。集団がある程度同じような子供たちの集まりのときには、そこに集中して指導ができるので、こういう環境がいいんじゃないかととらえている。今後も続いて行けばと思うし、このように結果が出ている学校の秘訣あるいは授業の進め方等を、ほかの学校にもどんどん紹介していきたいと思う。

教育長

- ・ほかに意見、質問がないことを確認する。

日程第3 付議事項

- 1、議案第17号 雲仙市芸術文化大会出場激励費交付基準の一部を改正する訓令について

事務局

- ・資料により説明

教育長

- ・意見質問が無いことから承認を宣言する。

日程第4 その他

- 1、雲仙市教育振興基本計画の主要施策について

事務局

- ・資料により説明

委員

- ・今回の教育振興基本計画とこれまでの分を見比べて見てみたが、教育大綱にあわせて主要施策等がまとめられていて、体系図を見ても簡潔にわかりやすくまとめてあると感じた。その中で、今回の体系図、基本の施策の中に新しい言葉が幾つか入っていて、例えば「コミュニティースクールの導入」、「働き方改革の推進」、「いじめ対策の充実」というのははっきりと文言に挙げられていた。内容では、文化財での「市民団体との連携」とか、「民間活力の導入」というのもあった。そして、「スポーツツーリズム」、これは、前の計画の体系図の中にはなかったことで、これまでのことを引継ぎながら、こういう新しいことに力を入れて行くことは、これからもますます検討して欲しいと思った。

その中の「コミュニティースクールの導入」について、県の教育振興基本計画の中も、ふるさと教育に力を入れてあって、主要施策の1番最初に「ふるさと教育の推進」が書いてあり、基本的方向性には「ふるさと長崎への愛着と誇りを持ち」というのがある。こういうことを、コミュニティースクールで地域と連携してやっていかれる中で、力を入れて欲しいというのが1点。あと、コロナ禍で、随分生活スタイルが変わってきていて、子供たちの学校生活も変わってきている。そういう中で、いじめ対策をクローズアップしてくれたのは、ありがたいと思った。生涯学習でも、「一人一人が認め合う人権意識の啓発」というのが主要施策の中にあるが、誹謗中傷とか、あといろいろな差別とかで、コロナに感染したことで地域に住めないとか、保護者の方の職業でちょっといじめとか差別を受けるなど、新しいライフスタイルにおける新しい行動パターンということについても、具体的な取組を検討して入れて欲しい。

市民団体の連携とか民間活力の導入っていうのがスポーツ推進のところでもあるが、これも新しい文言だと思う。地域とか住民とか、そういう民間の力をこれからはどんどん活用して、お互いがパートナーみたいな形で、連携をしてやっていく時代なのかと感じながら見た。最後に、今何が起るかわからないようなそういう社会になっていて、前

の体系図の中に、主な取組というところに、防災に強いまちづくりっていうのがあった。いろんな災害とか、人的に危機的な状況とか、そういうことを含めて、そういう場面に対応できるような防災教育とか危機管理能力を主要施策の中に盛り込んで欲しいと感じた。

委員

- ・「郷土の歴史・文化の継承」の中で達成目標の1番下のところに、「各種保存会等との連携を図り、郷土芸能の継続的な活動を支援する。」というところがある。以前、総合教育会議の中でもこういう議題があって発言をしたが、保存会もかなり高齢化が進んでる中で、早急にやっついていかないと、亡くなられたりして継承ができない、残せないという状況がここ数年のうちにどんどん進んでいくと思う。総合教育会議の資料でも雲仙市内にかなりの数の郷土芸能があったので大変だと思うが、なるべく地域にあった文化や郷土芸能を書面や映像できちんと残せるよう、早急にできることから市で取り組んで欲しい。もう一点、スポーツツーリズムの関連だが、陸上の関係で、今度、新小浜体育館が出来て、それに関連して大会や合宿等の誘致を推進していくということだが、残念ながら陸上に関して、このコロナを境に大会等がなくなったりとか、無くなる可能性が出てきたりとかあって、陸協の中でも12月に開催される「湯 YOU マラソン」が中止になって、1月のSPAリゾートマラソンも中止になって、次年度も体育館建設で駐車場等が無いので大会開催は厳しいのかなと思う。県下一周駅伝も今回は、コロナの影響で、諫早の県立競技場の周りで最小限の人数の大会をやる方向で進んでるということだった。高校駅伝も別のコースでの開催について話が出てということで、先々週に試合があったときにちょっと話を聞いたが、実際、県内で名前が挙がっているところがあるらしくて、そこは、国道ではなくて県道ということで比較的許可が取りやすいようだ。残念ながら高校駅伝に関しては、公認コースでなくても、距離さえ測っていたら大会はできるということで、そうなるとうんざりで開催される冬の風物詩の駅伝やマラソン大会等が一気に無くなる方向に進んでしまう。陸協としても、できるだけ残してほしいと担当の先生に話をしたが、上のほうで話が進むと、一気に大会がなくなる恐れがある。実際、今の大会は、少し赤字が出ていて改善しながらも厳しい大会もあるので、仕方ない部分もあるのかなとは思いますが、行政と協力しながら、一気に無くなることは本当に避けたいので、体育館を中心とした大会誘致も大事だと思うが既存の大会も何とか継続していけるような形で協力しながらやっついていければと思う。

教育長

- ・スポーツ振興課には大きな課題が与えられたと思う。いろんな情報を収集しながらしっかりと対応していかなければならないと思う。

委員

- ・教職員の「長時間勤務の原因となる中学校部活動の在り方についても国の動向を注視しながら、学校運営協議会との連携等できる部分から着手」と書かれているが、ちょっとイメージがつかない。学校運営協議会との連携と長時間勤務を減らすということの関連が、学校運営協議会の委員が部活動指導にボランティアに行ったりしてもらって、先生たちの勤務時間を減らすという意味か。

事務局

- ・直接、委員がどうこうということではない。まず長時間勤務の原因となる部活動の在り方、現在の状況から言うと長時間の時間外勤務の大部分は、部活動であるということは間違いない。

部活動については改革をしないといけないという点は、国の方向性とか、報道等でも御存じかと思うが、まず、土日については学校が担うべきではないということを検討するというように、今は変わってきている。

私たちがここで考えている学校運営協議会との連携という点については、学校運営協議会と、部活動振興会を連携できないかと考えている。中学校の部活動は学校教育活動なので、学校運営の一つであるが、部活動の外部指導者というのが、何かの学校の組織の中に入っているかというところとそうでないところが結構ある。例えば部活動振興会というのがあるけれども外部指導者が一緒になって話し合う機会があるかというとなかなかそういうのを持っていない。例えば辞令を渡すにしても、集まってもらって全部の保護者の前で一緒に渡すということも出来ていない。それらを含めて、いろんな組織、部活動振興会も含めて外部指導者を巻き込んだような学校運営協議体が出来ないかという点を探っていきたい。

つまり、委員になった方に部活動をして下さいということではなく、例えばその部活動振興会の代表者にこの学校運営協議会にも参加をしてもらって、学校としてこの学校の部活動をどうしていこうかみんなで話し合う、そして動き出すというふうになっていければという思いがある。

実現には結構ハードルがいろいろあるかなと思うが、みんなでやっというふうな動きになればという思いで考えている。

教育長

- ・今度の検討委員会は11月9日を予定しているが、そこでも少し変更があるかと思うが、達成目標の書き方の統一がされていないところなどがあるので、今後整理して行く必要がある。例えば、「こういう課題があるからこうしていく必要がある。そしてその達成目標はこうだ。」とか、目標も「推進します」という形ではなく達成に向けた進み方がわかるような見える化に努めて欲しい。数値化するのは難しいと思うが、欲張らずにこれだけを目指すということを明確にした方が、焦点が絞れていいと思う。

2、令和2年11月25日（水）午後1時30分から11月定例会を雲仙市千々石庁舎（教育委員会事務局）3階大会議室で開催することを確認する。

教育長

- ・ほかに意見、質問、報告等がないことを確認し、令和2年度10月（第7回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。

會議録署名

委員

委員

作成職員